

- 熱処理によつて特にシャルピー衝撃値を低下せしめた強靱鋼の疲労試験 (II) 關口次郎, 矢野勝 19
- ケルメット軸受の電解研磨法による組織検査 有馬 春男 47
- 任友電氣彙報 27 昭 18-1
- 金屬酸化粉末の水素還元而就て (I) 小川弘二, 淺岡富士式 12
- 精密抵抗線の性能に及ぼす熱處理の影響而就て (II) 江崎保, 宮川一郎, 中崎辰夫, 宮本至 18
- アルミニウム被覆作業に於ける紙絶縁の短時間加熱劣化に就て 田中郁雄, 小林四郎 50
- 東芝研 18 の 5 昭 18-5
- 速回転寫眞機に依る火花放電の觀察 堀越眞一郎, 吉田光二, 打浪正己 261
- 高度真空排氣法に就て 長島 躬行 271
- 航空學會誌 10 の 95 昭 18-3
- 日本鑛業 59 の 697 昭 18-5
- 黃銅鑛の浮選上に及ぼすザンセート不純物の影響に就て 高草木政英 253
- セレベス産低ニツケル鑛製煉研究 (I) 播木 寛光 260
- コバルトの新濕式抽出方法に就て 楠谷謙一, 豊田精一郎 265
- 茂山鑛山に於ける露天採掘法 269
- 鹽田石膏の浮游選鑛に就て
- 朝鮮工業會誌 26 の 4 昭 18-4
- 三和重石鑛山の地質鑛床 金 鐘 遠 7
- 鑛山聯盟主催鮮内主要鑛山視察報告會記録 (III) 15
- 鑛業技術研究委員會記録 (III) 29
- ジルコニウム原鑛と製法 (I) 成田 亮一 33
- 鑛業處分 39
- マンガン鑛産額 32
- 九州鑛山 昭 18-5
- 三井田川鑛業所に於ける電力消費合理化に就て (第 V 回懸賞論文) 平島 清 213
- 春日鑛山に於ける物理探鑛 小田二三男, 野口高 240
- 新下川鑛山に於ける物理探鑛 小田二三男, 野口高 247
- 爆發に備へ技術管理者の注意並びに實施すべき事項対策篇 257
- 東亞建設と南方地下資源 270
- 燃料協會 22 の 247 昭 18-4
- 製鐵用燃料に就て 藤村 哲之 315
- 硬化炭に關する研究 阿部良之助, 大槻茂壽, 大洞甲子郎 350
- 燃料常識 (XVI) 380
- 鑛物 15 の 3 昭 18-3
- 鑛鐵とガス (II) 音谷 登平 85
- アルミニウム合金鑛物の話 (I) 103
- 木型工に關する座談會 109
- 窯業協會 51 の 605 昭 18-5
- 窯業方面の熱管理に就て 黒田 泰造 247
- 滿洲産マグネサイト基礎研究 (I) 茂木今朝吉, 田崎孝夫, 山中正平 248
- 耐熱耐アルカリ煉瓦に關する二三の基礎的研究 (I-II) 山内俊吉, 加藤左織 257
- 無硼砂無コバルト珐瑯 (III) 入江 辰雄 267
- 昭和 17 年に於ける窯業に關する特許, 實用新案の趨勢 草間 節夫 297
- 製鐵冶金の基礎としての鑛滓學 (II) 佐藤 純夫 298
- 滿洲冶金 5 の 38 昭 18-4
- 昭和製鋼所製鋼材の二三の性質 (I) 非金屬介在物の測定 藤田守太郎, 鷲田光俊 1
- 製鐵用廻轉爐内に於ける裝入物の移動の狀態及び速さに就て 嵯峨 敏郎 11
- 硬鋼線材に關する研究 (I) 伸線の破斷の原因に就て 藤田守太郎, 坂井 幸雄 23
- 熔銑中の珪素及び炭素の酸化除去に對する考察 廣本明男 34
- 浮選の立場から見た接觸測定法 三好 庄八 40
- 復元現象に就て (I) 花岡 三雄 57
- 地學雜誌 55 の 651 昭 18-5
- 支那號 第 21
- 建築士 32 の 5 昭 18-5
- 土木學會 29 の 5 昭 18-5
- 管内亂流に於ける熱の移動エネルギー輸送との附似に就て 石原藤次郎, 青松 健一 387
- 砂地盤の支持力 (續) 昭和 過熱 396
- 造船協會 253 昭 18-4
- 過熱器の内部腐蝕 113
- 鑛鐵製推進器の試験 114
- 殖銀調査 60 昭 18-5
- 大商工會 432 昭 18-5
- 生産管理の方式公開二篇 宮嶋久次郎, 坂口 碌三 14
- 自然科學と博物館 14 の 5 昭 18-5
- 海外經濟事情 18 の 6 昭 18-6
- 發明 40 の 5 昭 18-5
- 科學技術動員 2 の 6 昭 18-6
- 特許發明等實施令と技術公開公流の進捗特輯
- 縮スフ會報 1 の 4 昭 18-5
- 最近の經濟統制立法より見たる統制立法統制方式の轉換 田中 二郎 2
- 軍事と技術 198 昭 18-6

## 業 界 雜 報

## 制度經營の改善

## 整 備

- 超重點生産の完遂が企業整備の最大眼目である 朝日 0530, 0529, 0602 日産 0529.
- 五大重點産業の顧問陣を充實する 朝日 0610.
- 企業整備基本要綱により重點部門を調整強化する 日産 0602.
- 商工會議所を解散し地方商工經濟會を設立する 朝日 0602
- 翼政は企業整備の事前審議を開始した 日産 0608
- 滿蒙間に交易價格の申合せが成立した 朝日 0525
- 鐵, アルミ, 石炭にも戰時特例を發動する (首相談) 東京 0619
- 鐵鋼統制會の 18 年度の事業計畫が決定した. 重點生産, 勞務管理 供給確保, 價格の平準, 屑鐵回收, 防空対策 東京 0529.
- 國鐵の倉大輸送量は一般貨物 6 割抑制で乗切る (鐵相) 日産 0528
- 企業整備の方針は生産行政の一元化, 積極果敢な運営 日産 0614
- 八幡製鐵所では運輸, 港務, 業務, 鐵道の各課を設けた 西日 0605.
- 條約改正によりハワイの企業に邦人が進出してゐる 朝日 0516

○臺灣の工業化は高雄を中心に進む(總督談) 日産 0519.

**人 事**

○鐵鋼製品工聯理事長に渡邊吉太郎氏が就任した 朝日 0529, 日産 0529.

○日鐵副社長に小島氏が決定した, 朝日 0609, 日産 0609, 東京 0609.

**勞 務**

○勞務対策は重點部門に主眼を置く 日産 0615.

○勞務報國隊を常備組織にする 朝日 0529.

○金山の勞務移駐が終つた。來月は施設を移轉する 日産 0525.

○夏季に鐵鋼部門の皆働運動を實施殊勲工場は生産成績を考慮する 北海 0606, 高知 0613, 朝日 0611, 大毎 0611, 満日 0524.

**奨 勵 金**

○マンガン奨勵金は 12t 以上と決定した 日産 0516

○鹽業交付金は專賣局長が指定し, 返還命令も出せる 日産 0515.

○鹽業補償金は損害額の 3分の2で交付する 日産 0602

○海務局による運航能率増進奨勵金を認可した 日産 0615

○18 年度石炭確保対策の一つとして賃金改善を行ふ 日産 0610.

○轉廢鋼材特約店の補償金支拂要領が決定した 日産 0525.

**米英の罷業**

○米の炭坑罷業彈壓論が盛である 東毎 0604 日産 0605 朝日 0604

○罷業禁止法案は 12 日上院を通過した。労働組合は大統領に同法案の拒否を要求してゐる 日産 0614.

○賃金交渉の妥結がない限り總罷業は不可避である 日産 0603.

○英坑夫は二週間前から罷業してゐる 朝日 0903, 日産 0603.

**原料設備の増強**

**増 産**

○特殊鋼を増産のため銑鐵, 原鐵を活用する 日産 0610.

○信越化學では苦汁法一本建でマグネ増産を行つてゐる 日産 0605.

○聖水寺新工場完成で製鐵用マグネシア 8 割の増産となつた 日産 0604.

○米英はワナヂウムの開発と増産を圖つてゐる 通日 0413.

○在庫品交換を統制會が斡旋する 日産 0530.

○水豊, 豊満水電, 撫順, 阜新の火電利用による遊休設備進出を要望してゐる 朝日 0604.

○昨年度日鐵八幡は割當量を上半期 94%, 下半期 103.5% 生産した 東京 0602, 西日 0611.

○石炭増産目標突破を期す(統制會長談) 日産 0530.

○フェロクロム増産策成る 日産 0521.

○豊水のためフェオアロイは 50%, フェロクロムは 100% 増産した 日産 0102.

○マンガンは昨年より 1割以上増, 開發は好調である 日産 0603.

○選炭と定時電力契約でカーバイドを増産する 日産 0605.

○今秋には 12 工場が高爐セメント増産に加はる 日産 0611.

○大同炭礦は銑鐵の生産に乗り出した 北海 0614.

○昨年の鐵鋼生産はほぼ割當に到達した(渡邊理事長談)朝日 0527 中日 0527, 秋田 0529, 日産 0527.

**表 彰**

○首相は鶴嘴部隊を表彰した 朝日 0611, 日産 0610.

○石炭増産の殊勲者は表彰された 日産 0608.

○炭山増産報告隊は厚生大臣から表彰された 東毎 0608.

○石炭増産の 32 鑛山を商相が表彰した 日産 0607, 0611.

**配 給**

○鹽化石灰も近く配給統制になる 日産 0519.

○17 年度鋼管割當證は無効となつた 中日, 日産, 高知 0521, 朝日 0520.

○共配と鐵鋼販が共配所作成案を協議した 日産 0514.

○銑の配分を特殊鋼方面に轉換する 日産 0615.

○硫化鐵の第 2.4 半期割當は日滿商事が一手に引受る 日産 0609

○鐵鋼配給第 2.4 半期は改變しない 日産 0608.

**同 收**

○地方府縣の工作隊の編成を終り非常回収を 7 月 1 日から實施する 日産 0615.

○故銅回収會社設立は認めず代理店, 地區回収會社による 日産 0603.

○金屬回収會社の機構を擴充する 日産 0513.

○金屬非常回収細目が決定される 3 期間に回収される 日産, 朝日 東毎, 東京 0611, 滿洲 0525.

○米國のアルミ増産目標は 12 億ポンドで一般からの回収も強化してゐる 日産 0515.

**開 發**

○南方資源開發に原住民の協力が目覺しい 日産 0516.

○中支の銅開發が進み精鑛石は明春供給の運びとなる 日産 0610

○北海道の砂鐵鑛區を積極的に開發する意見が大坂財界にある 北海 0617.

○日本鑛業は日本電化, 日本製鍊の支配權を得た 日産 0604.

○泰國東部に有望な鉛鑛床を發見した 日産 0615.

○山口でも銅鑛の開發をする 日産 0519.

○東鑛局では移駐先鑛山の實情を調査し, 休止鑛山の將來の開發に遺憾のないやうにする 日産 0514.

**採 掘**

○長壁採炭法で増産を期せ 日産 0605

○セレベス銅鑛を露天掘, 坑道掘を併用し本格的に採掘する 日産 065.

**外地進出**

○電工と住友アルミ朝鮮へ進出し建設用鋼材割當も終る 日産 0515.

○日本鋼管は北支開發と共同で華北製鐵會社を設立する 日産 0515. 朝日 0516.

**米英の生産**

○英國の 2 月中の石炭生産高は昨年と比較すると減少となつてゐる 通商局日報 0402.

○米國の増産完成の爲石灰石, コークスが増産された.

○鐵屑回収は昨年は 95.7% であつた 通商局日報 0515.

○米國に於る實際の鐵鋼生産は大體 96% である 通商局日報 0512

**鑛 山**

○鑛産物販賣専門委員會を設けた 日産 0519.

○鑛山機械の標準化が決定した 日産 0605.

○中國生産物資の對日寄與に期待出来る(石渡顧問談) 朝日 0614

○鑛業着手許可制が發令された 日産 0601, 大毎 0601.

- 鑛山官を増員する 日産 0527.
- 炭鑛地の工業立體化を圖る 日産 0527
- 指定鑛山の呼稱を基本鑛山と改稱する 日産 0528.
- 重要鑛物増産法中改正法律6月より實施し又手数料の改正も公布施行する 日産 0529.
- 工場就業時間制限の廢止、鑛夫就業扶助規則の特例が発令された 毎日 0612, 日産 0612.
- 東鑛局鑛山官擔任鑛山が決定した 日産 0514.
- 鑛山にも徴用工割當を實施する 日産
- 鑛山隣組制度を組織すると共に組長銅山が決定された 日産 0515.
- 銅を筆頭に緊急鑛種を決定する 日産 0609.

### 砂 鐵

- 砂鐵緊急増産策を決定した 高知 0601.
- 砂鐵配給統制を行ふ 東京 0521.
- 砂鐵助成策を日鐵鑛業に擔當させる尙最近砂鐵の直接高爐投入率向上の技術に成功した 大母 0521, 日産 0521.
- 砂鐵法の権限を鑛山局長に委任する 大母 0521, 日産 0522.
- 砂鐵の品位向上の方策を決定した 朝日 0521.

### 炭 山

- 石炭山の賃金引上を行つた 日産 0529, 朝日 0529.
- 石炭確保対策に關する件を決定した 朝日 0529, 日産 0530, 0529.
- 鑛夫就業扶助規則の特例は炭山にのみ實施する 毎日 0612.
- 婦女、青少年の募集を強化する 日産 0615.
- 炭鑛戰士作業衣等の確實配給が期せられた 日産 0514.

### 新 鑛 床

- 蘇聯は新鑛床を開發してゐる 日産 063.
- 洞陵洞官山に於て優良な銅鑛脈を發見近く採掘に乘出す 日産 0526.
- 安東省に良質の鐵鑛床を發見この開發を期待される 満日 0531
- 日鐵鑛業では割期的増産計畫を實施する 讀報 0609.

### 油

- バーム油、朝鮮鯨油獲得に重點を轉換する 日産 0615.
- 中小鑛業者を対象に原油獎勵金を出す 日産 0601.
- 近く製油業の企業整備の具體案を發表する 日産 0530.
- 油交會は解散し飯田化學外四社が統合した 日産 0602.
- シトロネラ油の入手により數年間は不足を來す心配は解消の見込 日産 0611.

### 石 灰 石

- 石灰石の獨立の統制形態で生産統制を推進する 日産 0531.
- 高爐及び混合セメントの生産に重點を置いて石灰業の整備が進められてゐる 朝日 0529.

### アルミニウム

- アルミ價格引上を行ひ6月1日より實施した 毎日 0603, 朝日 0602, 日産 0602.
- 昭和電工住友アルミの2社が朝鮮に進出した 朝日 0516.
- 米英加の協同アルミニウム委員會が設立された 通商局日報 0413.

### 小 型 爐

- 小型爐建設計畫は豫定以上の進捗ぶりである 高知 0531, 京報 0522.

- 年度の生産目標確保は困難らしいが小型熔鑛爐建設は好調らしい 大阪 0611, 日産 0611.
- 米國の熔鑛爐使用最高潮に達してゐるが一般工場の建設は遅延してゐる 通商局日報 0513.
- 平壤附近に於ける小型爐は鮮内業者の手で火入の運びとなつた 日産 0526.

### 輸 送

- 石炭輸送に重點のため國鐵線路の改良工事が着々進む 日産 0522, 大毎 0528.
- 中繼港の増設と荷役改善を行ひ北方炭の輸送強化を圖る 日産 061.
- マラムバ鐵山は英國の生産工場の原鑛石を供給出来るが船腹が不足である 通商局日報 0417.
- 亞炭輸送を抑制する 日産 0524.
- 鐵鋼輸送に機帆船専用決定尙燃料對策を攻究中 日産 0519.
- マンガン出荷の功勞鑛山110山を商工省では表彰した. 日産 0608.

### 新 設

- 日化と三菱で關東州マグネシウム工業會社を設立、製法はマグネと苦汁の併用法による 日産 0609.
- 廣畑製鐵所ではタール製品生産設備この程完成した 日産 0528
- 増産へ積極的斡旋を行ふ一方精鍊所の増設も行つてゐる. 日産 0609.
- 南方セメント竹東工場は資材關係により竣工が來春に遅延した 日産 0615.
- 鐵鑛業勤勞訓練所が設立され半島人の鐵鋼方面への理解を高める事になる 日産 0519, 大毎 0519.
- 宇部油化東洋高壓の工場完成を促進し宇部油化一部は年内に運轉を開始する 日産 0601.

### 調 査

- 共榮團の炭質による利用法等詳細に分析調査を行つたが共榮團石炭需給進路を明示する 日産 0528.

### 原料の確保

- 日鐵鑛業原料會社分擔で原料確保する 日産 0601.
- 製鐵原料内地自給方を探る事に鐵鋼統制會及日鐵鑛業で決定した 大朝 0608.

### 技術操業の向上

### 製 鍊

- 昭和製鋼では貧鑛處理に完全焙燒工場の新設工事に取掛つた 滿洲 0527.
- マグネ製鍊に直接還元法を完成した 日産 0519.
- 鑛滓から擬鐵素地製造を完成した 日産 0526.
- 今迄の技術公開は秘密嚴守されたが總力戰の各社の技術公開に平衡と躍進が期せられた 満日 0529, 日産 0529.
- 輕金屬製造技術、製造能率の向上のため技術交流規定を制定した 朝日 0516, 日産 0516.
- 技術公開、交流の制度化實現すべしとの意見が民間各方面で擡頭してゐる 日産 0514.

### 火 薬

- 不發爆藥の災害防止策とアルミ雷管の作製に成功し尙炭鑛用の特殊雷管を作製中である 日産 0604.

○鑛山での安全被筒の使用を徹底せしめ、爆薬使用法も新研究をした 日産 0514.

○使用困難な液體空氣爆彈をドイツでは使用した 日産 0609.

**輕金屬**

○今後の輕金屬の増産は技術の改善にあり 毎日 0612.

○輕金屬の飛躍向上のため綜合技術研究機關を組織した 日産 0526.

**開發及び機械**

○内地資源開發に技術者を總動員し、技術指導その他の調査を行ふ 日産 068.

○北松鑛業所では天盤の持別切上による規則的短冊型充填に成功採炭増進した 毎日 0521, 日産 0521.

○北支の主要炭鑛にバーム型水流炭機を据付ける 日産 0615.

○塊鑛の磁力選鑛に成功した 毎日 0521. 日産 0521.

○滿洲國學術調査隊は大興安嶺、白頭山等の鑛物資源調査を行つた 朝日 0615.

**鑛泉**

○鑛泉利用の合成酒の製造法に成功した 毎日 0612, 0613.

○鑛泉の鹽分を乾燥し質用化すべく研究中 毎日 0612.

○秋葉朝一氏は酸性海水成因説では殻の有毒化の説明は出来ない 朝日 0615.

○鋼の表面硬化劑に青酸ソーダを利用する事に成功した 日産 0514.

**軸受**

○砲金メタルを樹脂メタルで代用する事に成功 日産 0514.

○國鐵では鑛滓制輪子や合金張軸受を研究中である 日産 0609.

**五月中開催工業品規格統一調査會委員會名並にその議題**

〔略字 B: 第部, I: 委員會, i: 小委員會, U: 打合會, JES: 日本標準規格〕

**1 B.**

- 1) 1B 2I i 5.25
  - (1) Mg 合金分析方法
  - (2) 現行 JES 非鐵金屬分析方法改正の件

**2 B.**

- 2) 2B 石油工業装置に関する U 5.6; 5.15; 5.24
- 3) 2B 12I 5.10
  - 油脂類の分析及試験方法
- 4) 2B 21I 5.14

**色(測色)**

**3 B**

- 5) 3B 5I 5.6
  - 同轉電機の軸中心高 (日本電機製造 K 提出)
- 6) 3B 12I 5.7
  - 空氣濕電池規格案 (電氣化學 提出)
- 7) 3B 9I U 5.12
  - JES. 330 銅管端子の改正
- 8) 3B 5I 5.25
  - JES 112 小型單誘導電導機の改正 (電氣 K 提出)
- 9) 3B 7I 5.27.
  - 電線用アセチルセルローズ塗料及同試験方法
- 10) 3B 臨時 1I 5.28
  - JES 39 配電盤用小型指示電氣計器の改正
- 11) 3B 11IU 5.31
  - (1) 臨時 JES 53 小型真空管の型名の實施普及
  - (2) 小型真空管の種類の整理

**4 B**

- 12) 4B 4I 2i 5.4
  - (1) インポリユート齒切フライス
  - (2) 齒車用ホブ
- 13) 4B 9I 5.12
  - 研
- 14) 4B 12I 5.14
  - (1) 自動車用スプライン
  - (2) " ユニオン管接手
  - (3) " ナット
- 15) 4B 2I 5.20
  - (1) フランジ規格改正
  - (2) フランジと管との關係
- 16) 4B 14I 5.24
  - 鋼索規格改正
- 17) 4B 1I 5.25
  - (1) 六角ナット規格中改正
  - (2) 刻印に依るねぢの表示方法
- 18) 4B 臨時 2I 5.31
  - (1) 分級機
  - (2) 真空爐過機

**寄 贈 圖 書**

岡島奈良藏著	キューポラに熱風利用法	昭 14	岡島鑛物研究所寄贈
同上	高級セミステール製造法の1例	昭 11	同上
同上	送風管の風溜撤廢論	昭 14	同上
同上	高級鑄鐵	昭 14	同上
滿洲帝國地質調査所	滿洲帝國地質調査所彙報第106號	昭 17	滿洲帝國地質調査所
日本工學會編纂	工學工業年報(第3回)	昭 17, 18	龍吟社